

先物オプション取引リスク管理シミュレーションツール

「AIデリバティブ」ユーザーガイド

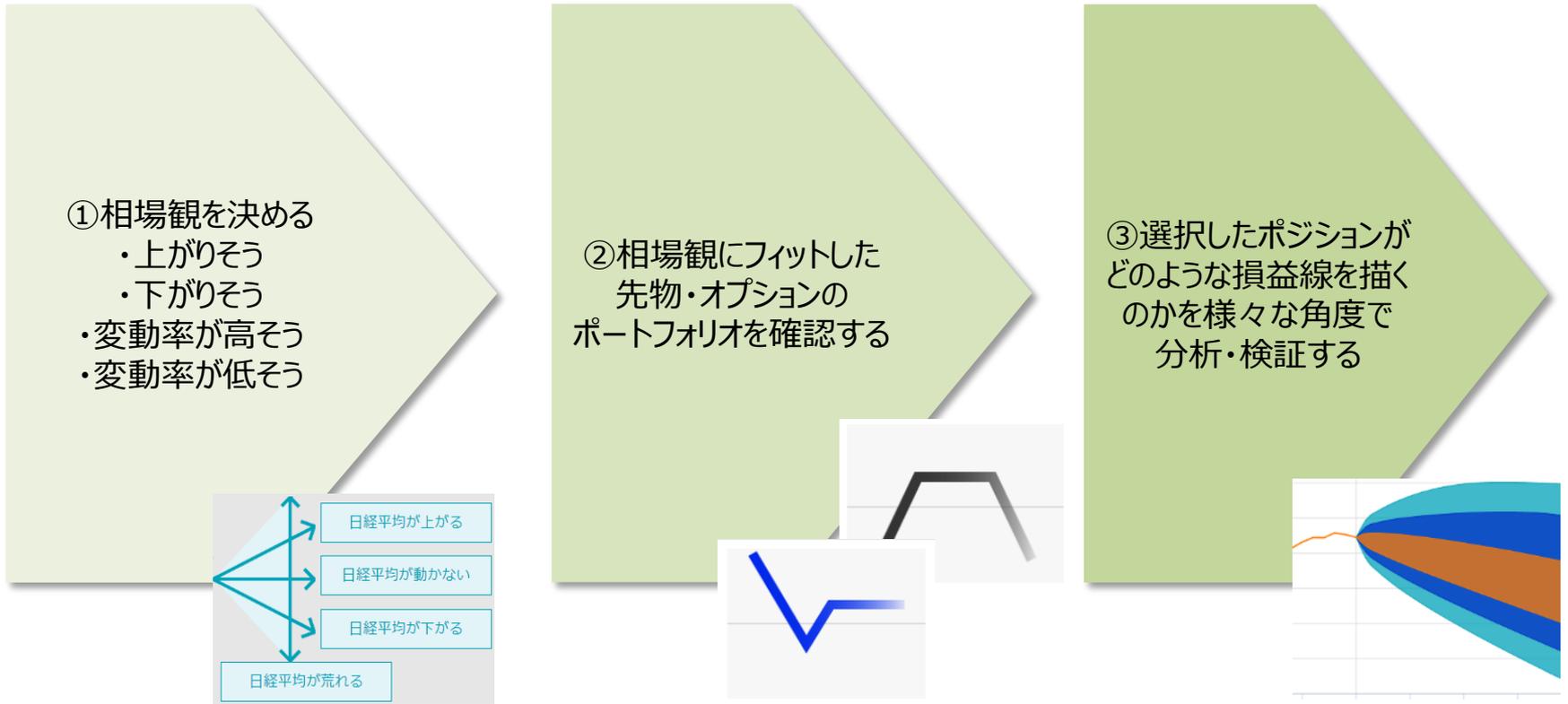
2017年12月21日作成

AIデリバティブでできること

【はじめに ～AIデリバティブで出来ること～】

日経225先物取引・オプション取引を活用することで、単純な日経平均株価の値上がり・値下がりだけではなく、日経平均株価が「今の価格から大きな変動はなさそう」、「上下の方向性はわからないが、ボラティリティが高まりそう」、「この程度まで値上がりしそう」「この程度まで値下がりしそう」といった、値上がり・値下がりや予想すること以外のさまざまな相場観をもとに、より高度な投資戦略に基づくお取引が可能となります。しかしながら、オプション取引の価格形成は、原資産である日経平均に対して非線形的な様々な値動きをすることから、どのようなポジションが自身の相場観にフィットし、そのポジションの損益が時間の経過や原資産の変動に伴いどのように変化をするかを理解することは、複雑な金融工学等の知識を必要とするため個人投資家にとっては必ずしも容易ではありません。

「AIデリバティブ」は、以下の①～③のプロセスで、相場観にフィットした様々なポジションパターンを提示します。複雑なオプション取引等の計算をおこなわなくても、お客様の投資戦略に適合したポジションを提示し、それが市場の変動に応じどのような影響を受けるのかを、わかりやすいグラフで描画いたします。



ニーズ選択

相場見通しに合う
ポジションを確認し
分析したい

既存のポジションについて
・リスクを低減したい
・最適な合成ポジションを
組みたい

検討中のポジションを
登録して損益曲線を
確認したい

ナビゲーション選択

オプション
シミュレーション

先物
シミュレーション

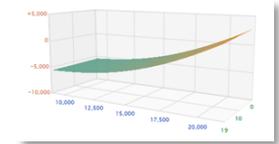
デルタヘッジ
シミュレーション

ポジション
カスタマイズ

チャート選択

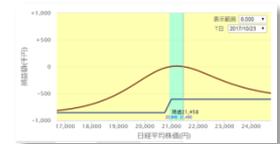
期間・原資産価格・評価損益の3軸から
確認する

→ 3Dチャート



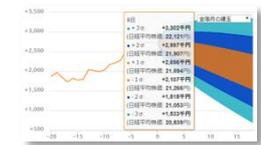
原資産価格を軸に確認する

→ 損益チャート



過去の値動きから標準的な
ボラティリティでの損益曲線を確認する

→ 時系列チャート



過去の大きなリスクイベントを再現した
シミュレーションを行う

→ ストレステスト



ポジション決定

仮想建玉として、
最大5件まで、
保存および編集が可能

AIデリバティブの概要

AIデリバティブは、シミュレーション実施画面、ポジションの調整画面、チャート（シミュレーション）描画面面の3点から構成され、以下に概要を示します。

ツール全体の文字サイズの変更と計算対象となる日経平均価格の更新タイミングを選択します

AIデリバティブ

文字のサイズ中
 自動更新なし

TOP ポジションカスタマイズ デルタヘッジシミュレーション 先物シミュレーション オプションシミュレーション

日経平均株価 21,457.64円(---) 日経225mini 21,480円(23:16:00) 日経225先物 21,450円(02:09:00)
 最終更新時刻 2017/10/27 14:24:59

保有建玉 ?

銘柄	売買	数量	価格(円)	現在値(円)	評価損益(参考)(円)	デルタ	属性	取引	注文	変更	削除
日経225オプション 17/12 コール 18500	買	2	4,000	1,570	-4,960,000	--	保有建玉	--	-	-	-
日経225オプション 18/01 コール 20000	買	2	2,800	4,160	2,720,000	1.2787	保有建玉	--	-	-	-
日経225先物 17/12	売	1	25,000	21,450	-3,550,000	-1.0000	仮想建玉 1	--	<input type="button" value="注文"/>	<input type="button" value="変更"/>	<input type="button" value="削除"/>
日経225先物 17/12	売	1	18,000	21,450	-3,450,000	-1.0000	仮想建玉 1	--	<input type="button" value="注文"/>	<input type="button" value="変更"/>	<input type="button" value="削除"/>
日経225先物 17/12	売	2	20,890	21,450	-1,120,000	-2.0000	仮想建玉 1	--	<input type="button" value="注文"/>	<input type="button" value="変更"/>	<input type="button" value="削除"/>

ポジションカスタマイズ：自由にシミュレーションしたいポジションを仮想建玉として入力・保存出来る機能です。
デルタヘッジ：保有建玉のデルタを0に近接させ、デルタニュートラルを実現するポジションを提示します。
先物シミュレーション：保有建玉に対しお客様の相場観に適した先物取引の戦略を提示します。
オプションシミュレーション：保有建玉に対しお客様の相場観に適したオプション取引の戦略を提示します。

お客様の保有建玉・注文中建玉および、ポジションカスタマイズで作成した仮想建玉を表示いたします。選択した仮想建玉のお取引画面への遷移や、仮想建玉の変更も可能です。

チャート ?

3Dチャート 損益チャート 時系列チャート ストレステスト

調整用ポジション 保有建玉 注文中 仮想建玉 1 仮想建玉 2 仮想建玉 3 仮想建玉 4 仮想建玉 5

全限月の建玉

－ ポジション評価 －

	保有建玉	チャート
デルタ	1.2787 →	1.2671
ガンマ	0.0001 →	-0.0000
セータ	-39.1721 →	-38.9963
ベガ	75.5206 →	74.0453
評価損益	+2,720,000円	

シミュレーションを結果として出力するチャートを選択します。それぞれのチャートの詳細は以下のページをご確認ください。また、チャートへの描画対象とする建玉は、下段のチェックボックスにて選択いたします。

3Dチャート…P.4
 損益チャート・時系列チャート…P.5
 ストレステスト…P.6

チャート描画対象として選択されている仮想建玉や調整用ポジション等について、各ギリシャ指標が保有建玉からどのように変化しているのかを示します。

【画面説明】3Dチャート・損益チャートのご利用方法

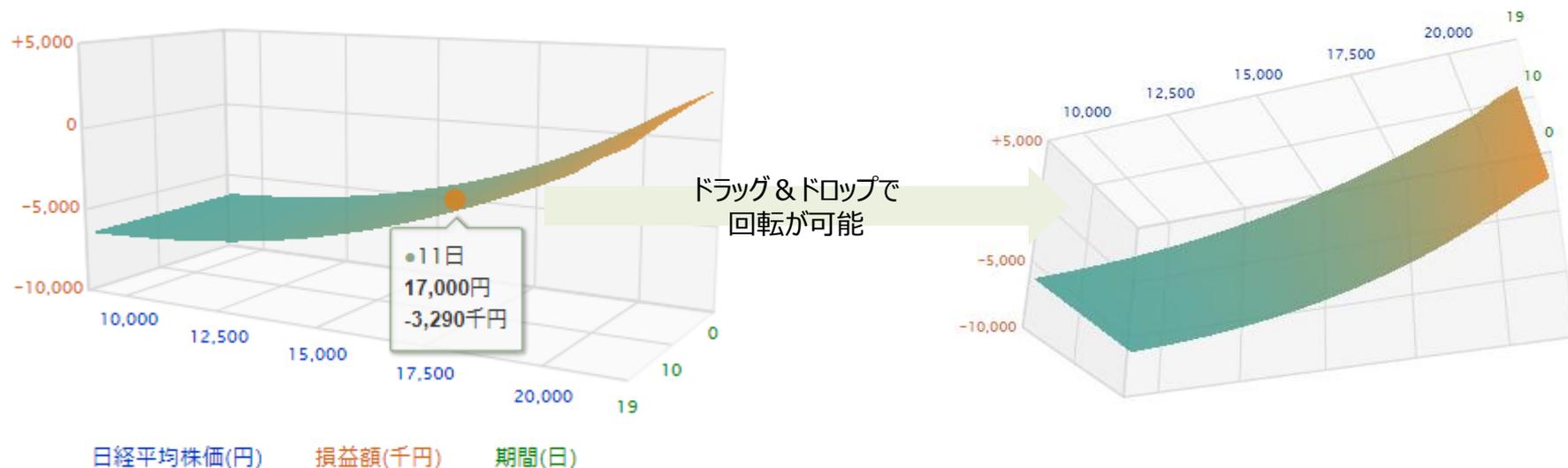
【3Dチャート】

3Dチャートは、仮想建玉や各種シミュレーション機能、および保有建玉等について、**原資産価格・指定SQ日までの残存日数・評価損益**の3軸を3Dで表現いたします。

オプション建玉については、残存日数時点の時間的価値の変化を反映したものとなり、HTML5チャートならではの曲線描画で、原資産価格や残存日数によりシミュレーション対象建玉の損益曲線がどのように変化するかをわかりやすく表現いたします。

ツールチップ機能を搭載しており、マウスオーバーにより指定したポイントにおける残存日数・想定原資産価格・建玉の評価損益を確認することが可能です。

また、ドラッグ&ドロップで3Dチャートを回転させることが可能で、表示される3軸の内、重点的に確認したい軸を強調した角度にてご確認いただくことが可能です。



損益チャート・時系列チャートのご利用方法

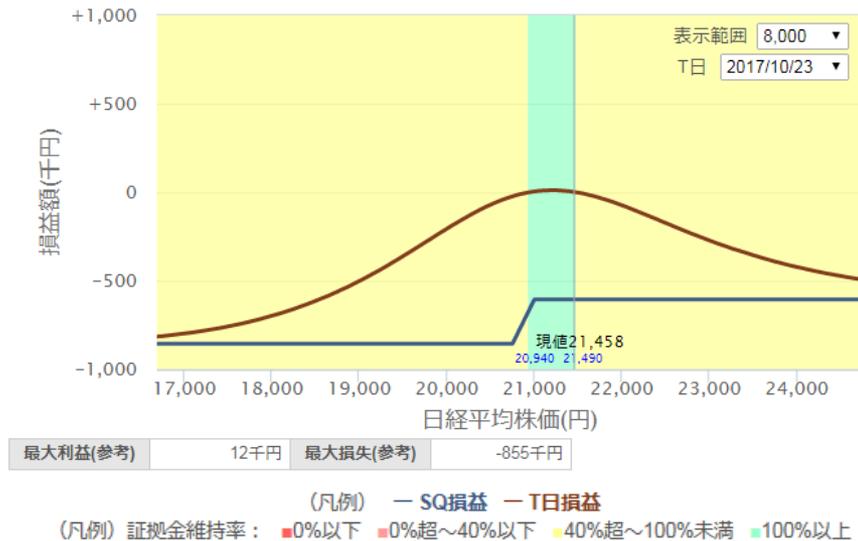
【損益チャート】

原資産である日経平均株価を横軸に、描画対象の選択した建玉の損益シミュレーションを縦軸に描画したチャートとなります。描画対象のポジションについてSQ決済における損益をブルーの直線で、SQまでの任意の日付において決済した際の理論価格を反映した損益をブラウンの曲線で表現いたします。

【時系列チャート】

起点を現在（0日）とし、経過日数を横軸に、損益シミュレーションを縦軸に表現するチャートです。現在（0日）からの損益シミュレーションは、過去の原資産価格（日経平均株価）を描画対象ポジションに適用させ損益シミュレーションをおこないます。現在（0日）以降の損益シミュレーションは、過去20日間のヒストリカルボラティリティ（HV）をもとに、経過日数に応じ、マイナス第3標準偏差からプラス第3標準偏差の範囲のボラティリティを示し、損益シミュレーションをおこないます。

・損益チャート



・時系列チャート



(グラフ描画対象の損益チャートの日経平均軸の範囲)

初期値: 銘柄マスタにある権利行使価格の(最大値+最小値)÷2を中心に、上下6,500円。
選択可能範囲: 20,000~2,000まで、千円刻みにて設定可能。

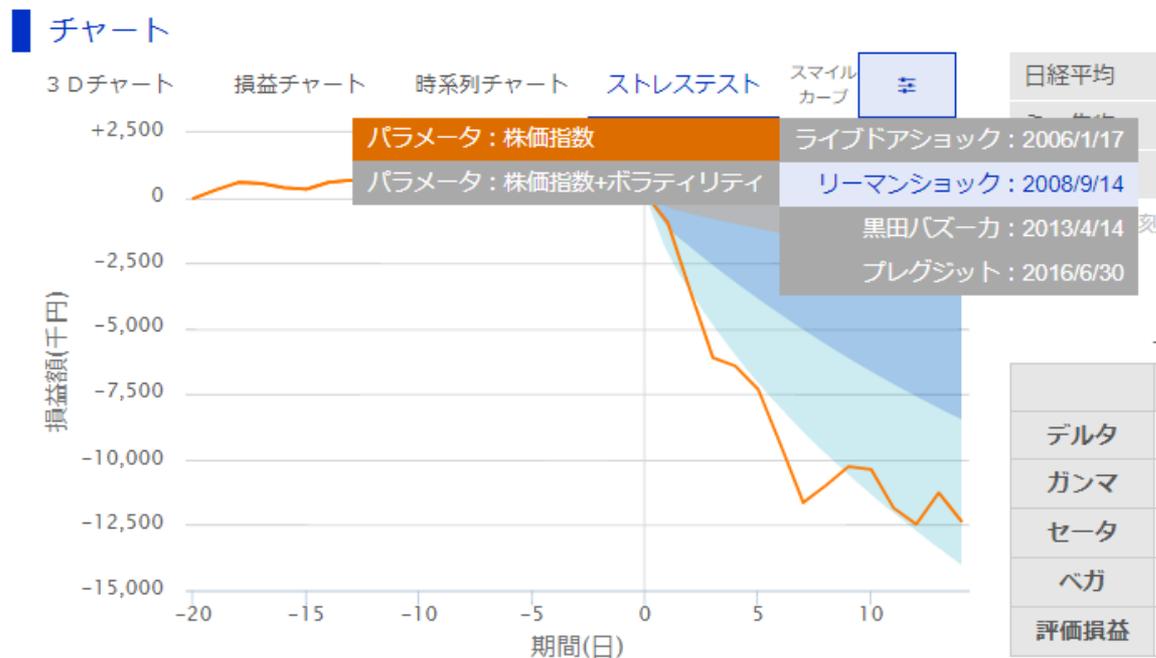
(グラフの色分け)

お客様の証拠金実額に合わせ、損益シミュレーション結果に対する受入証拠金残存率に応じ以下の色分けにて表示

ストレステストのご利用方法

【ストレステスト】

過去の大きな価格変動を伴う4つのマーケットイベント「ライブドアショック」「リーマンショック」「黒田バズーカ」「ブレグジット」時の日経平均株価および日経平均ボラティリティインデックスと同等の値動きが生じた場合に、お客さまの保有建玉や仮想建玉がどのような損益状況となるかをシミュレーションする機能です。現在時点を、各マーケットイベント該当日の10日前とし、当時の価格変動をシミュレーション対象となる建玉に相対させ、損益額をシミュレートいたします。



【ストレステストのシナリオについて】

マーケットイベント該当日	テスト開始日	マーケットイベント該当日	日経平均高値	高値日	日経平均安値	安値日	高安幅	日経VI高値
ライブドアショック	2005/12/29	2006/1/16	16777.37	2006/2/6	15059.52	2006/1/18	1717.85	26.28
リーマンショック	2008/9/2	2008/9/15	12647.29	2008/9/3	7162.9	2008/10/27	5484.39	92.03
黒田バズーカ	2013/3/22	2013/4/4	15432.64	2013/5/22	12003.43	2013/4/2	3429.21	48.35
ブレグジット	2016/6/10	2016/6/23	17009.21	2016/9/5	14952.02	2016/6/24	2057.19	43.62

※今後のマーケット動向を反映し、シナリオは更新予定です。

ポジションカスタイズのご利用方法

【ポジションカスタイズについて】

お客さまが任意で指定する、ポジションを仮想建玉として登録し、損益チャート等のシミュレーション機能をご利用いただけます。
また、オプションシミュレーションやデルタヘッジシミュレーション等さまざまな切り口で提示された調整用ポジションを、保存・編集することが可能です。

【ご利用例】

①ポジションカスタイズを選択後、「仮想建玉にポジションを追加」をクリックします。

仮想建玉に
ポジションを追加

②ポジション追加にて、商品、限月、プット・コールの別・権利行使価格（オプションの場合）、売買の別、数量を入力しポジションの追加が可能です。

ポジション追加		
銘柄	商品	日経225オプション
	限月	17/11
	P/C	プット
	権利行使価格(円)	21500
取引内容	売買	売
	数量	1
	価格(円)	1,430
キャンセル		ポジションを追加

③仮想建玉3として追加したポジションが登録されました。

保有建玉 ?

折りたたむ

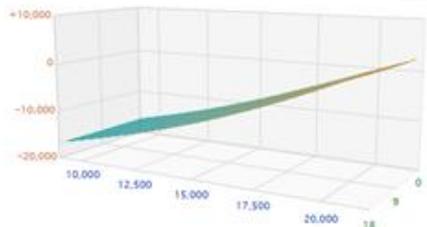
ALL 保有建玉 注文中 仮想建玉 1 仮想建玉 2 仮想建玉 3 仮想建玉 4 仮想建玉 5

銘柄	売買	数量	価格(円)	現在値(円)	評価損益(参考)(円)	デルタ	属性	取引	注文	変更	削除
日経225オプション 17/11 プット 21500	売	1	1,430	1,430	0	0.4520	仮想建玉 3	--	注文	変更	削除

④仮想建玉3として追加したポジションが登録されました。

仮想建玉としてシミュレーションすることも可能ですが、保有ポジションと当該仮想建玉の合成ポジションのシミュレーションや、他の仮想建玉との合成ポジションのシミュレーションが可能となります。（以下は、保有建玉と仮想建玉3の合成ポジションのシミュレーションの例です。）

保有建玉 注文中 仮想建玉 1 仮想建玉 2 仮想建玉 3



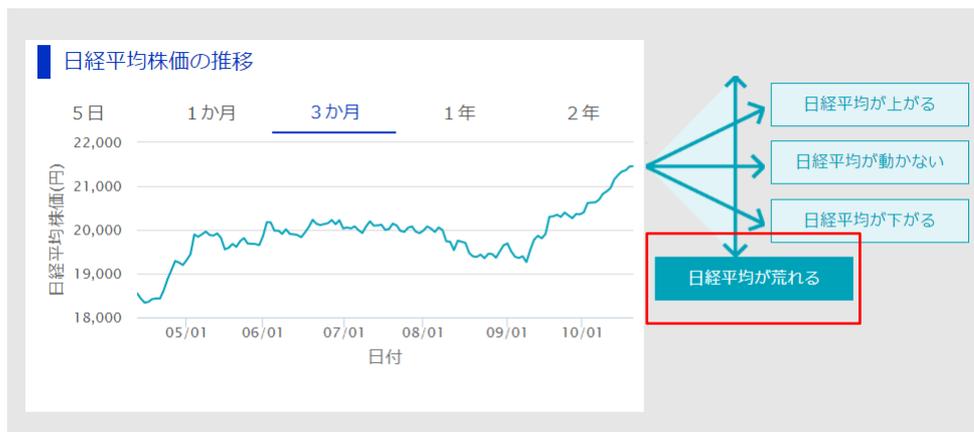
オプションシミュレーションのご利用方法

【オプションシミュレーション】

オプションシミュレーションにおいては、お客さまの相場見通しについて、「日経平均が上がる」「日経平均が下がる」「日経平均が動かない」「日経平均が荒れる」の4つから選択いただき、それに対し、具体的に有効とされる4つの戦略（合計16種類のポジション）を提示します。戦略選択後、原資産（日経平均株価）の推移に対する損益曲線を確認いただきながら、細かく合成ポジションをカスタマイズいただくことが可能です。

【ご利用例】

①お客さまの相場見通しを選択します（ここでは「日経平均が荒れる」を選択）



②相場見通しに合致した戦略が4つ提示されますので選択します。（ここではロング・ストラングルを選択します。）



③選択した戦略（ロングストラングル）に適合したオプションのポジション候補が「調整用ポジション」として提示されます。

調整用ポジション

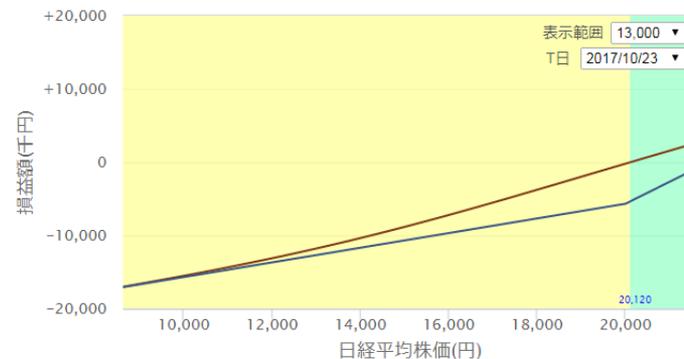
商品	限月	P/C	権利行使価格(円)	売買
日経225オプション	17/11	コール	22375	買
日経225オプション	17/11	プット	20875	買

（ご参考）

ロングストラングルを選択した場合は、
 ・現在値に最も近い権利行使価格+750円のコールの買い
 ・現在値に最も近い権利行使価格-750円のプットの買い
 を提示いたします。

なお、戦略毎の調整用ポジションの一覧は本書末尾に掲載しております。

④「調整用ポジション」について、各種チャート機能にて分析が可能となります。



デルタヘッジシミュレーションのご利用方法

【デルタヘッジシミュレーション】

現在の保有建玉のデルタを0に近接させる調整用ポジションを提示します。

保有建玉に調整用ポジションを追加することで理論上、ポジション全体をマーケットニュートラルにすることで、オプションのショートポジションの時間的価値の減少やロングポジションのヘガトレードによる収益機会を狙います。

(※ガンマが変動することで当初想定デルタ自体が変動する場合等、必ずしもシミュレーション通りの収益が実現できないことがあります。)

【ご利用例】

① 保有建玉についてデルタを0に近接させるシミュレーションを実施します。
(ここでは保有ポジションは以下で、デルタはプラス1.29のデルタロングです。)

保有建玉 ?

銘柄	売買	数量
日経225オプション 17/12 コール 18500	買	2
日経225オプション 18/01 コール 20000	買	2

② お客さまの保有ポジション（デルタロング/デルタショート）に応じた戦略が提示されます。ここではバックレシオによる調整をいたします。

戦略を選択してください



③ 調整用ポジションとして、保有ポジションを0に近接させるバックレシオの買いポジションを提示いたします。

調整用ポジション ?

商品	限月	P/C	権利行使価格 (円)	売買	数量
日経225オプション	17/11	▼	21375	▼	3
日経225オプション	17/11	▲	21125	▼	6

④ 調整用ポジションの追加後のデルタ値が0に近づいたことが確認いただけます。

－ ポジション評価 －

	保有建玉	チャート
デルタ	1.2945 →	0.1590
ガンマ	0.0001 →	0.0005
セータ	-38.0918 →	-132.8058
ベガ	75.1618 →	130.3060
評価損益	+2,720,000円	

(保有ポジションに応じたデルタヘッジナビの戦略提示パターンについて)

既存建玉がデルタロングの場合 → 先物の売りで調整、プットの買いで調整、バックレシオで調整、カウンターレシオで調整

既存建玉がデルタショートの場合 → 先物の買いで調整、コールの買いで調整、バックレシオで調整、カウンターレシオで調整

既存建玉のデルタが±0.1未満の場合 → デルタが0に近接している場合は、有効なポジションが提示できないため、シミュレーションを実施いたしません

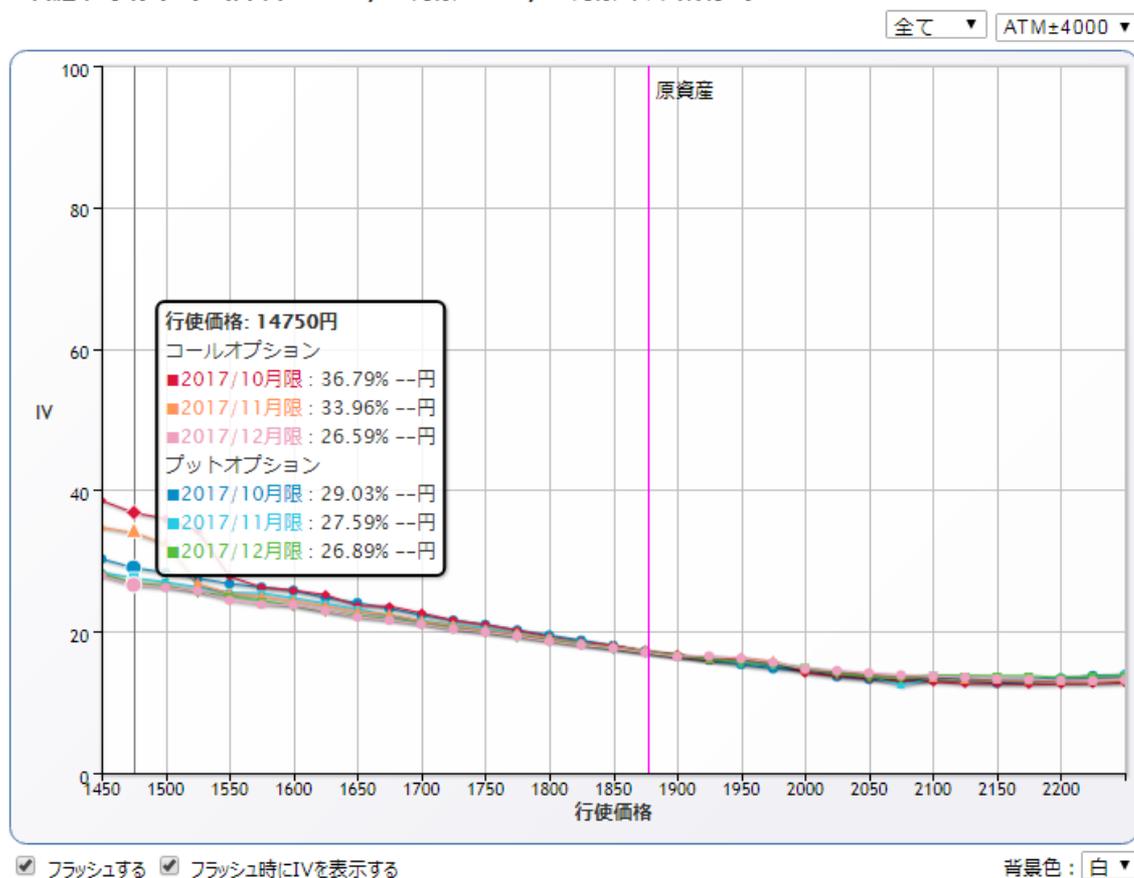
スマイルカーブフラッシュについて

【スマイルカーブフラッシュ】

デルタヘッジナビの画面からインプライドボラティリティ（IV）をチャート化したスマイルカーブフラッシュを起動することが可能です。スマイルカーブは流動性の高い限月ほど形成されやすい傾向がありますが、その傾向が崩れ、スマイルカーブに歪み（出っ張りやくぼみ）が発生することがあります。

こうした歪みはその権利行使価格でのIVの変動を示しており、これをチャンスととらえて割安になったオプションを買い、または割高になったオプションを売る、もしくは手仕舞うといった判断の材料として活用できます。

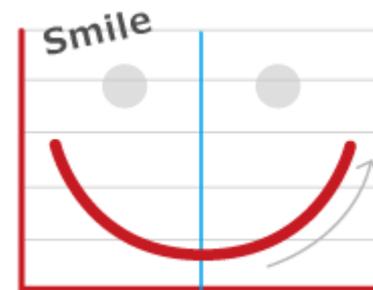
● 日経平均オプション（日中） 2017/10月限-2017/12月限 スマイルカーブ



【スマイルカーブについて】

権利行使価格を横軸に取り、インプライドボラティリティ（IV）を縦軸にとることで、複数の限月かつ、コール・プットごとにIVの比較を行うことが可能となります。

オプションのインプライドボラティリティ（IV）をチャート化し、動きを可視化したものです。当該限月のプットまたはコール（あるいはその両方）のインプライドボラティリティ（IV）を各権利行使価格で結んでいます。その形が「ほほえみ」のように見えることからスマイルカーブとされています。



資料：調整用ポジション一覧（オプションナビゲーション）

相場観選択	ストラテジーパターン	提示ポジション
日経平均が上がる	ロング・コール	現在値に最も近い行使価格+250円のコールの買い
	バーティカル・ブル・コール・スプレッド	現在値に最も近い行使価格+500円のコールの売り 現在値に最も近い行使価格+250円のコールの買い
	バーティカル・ブル・プット・スプレッド	現在値に最も近い行使価格-500円のプットの売り 現在値に最も近い行使価格-750円のプットの買い
	ショート・プット	アウトオブザマネーのうち、現在値に最も近い行使価格-500円のプットの買い
日経平均が下がる	ロング・プット	現在値に最も近い行使価格-250のプットの買い
	バーティカル・ベア・コール・スプレッド	現在値に最も近い行使価格+500のコールの買い 現在値に最も近い行使価格+250のコールの売り
	バーティカル・ベア・プット・スプレッド	現在値に最も近い行使価格-500のプットの買い 現在値に最も近い行使価格-750のプットの売り
	ショート・コール	アウトオブザマネーのうち、現在値に最も近い行使価格+500のコールの売り
日経平均が動かない	ショート・ストラドル	現在値に最も近い行使価格のコールの売り 現在値に最も近い行使価格のプットの売り
	ショート・ストラングル	現在値に最も近い権利行使価格+750円のコールの売り 現在値に最も近い権利行使価格-750円のプットの売り
	ロング・バタフライ	現在値に最も近い権利行使価格+250円のコールの買い 現在値に最も近い行使価格のコールの売り 現在値に最も近い行使価格のプットの売り 現在値に最も近い権利行使価格-250円のプットの買い
	ロング・コンドル	現在値に最も近い権利行使価格+1000円のコールの買い 現在値に最も近い行使価格+750円のコールの売り 現在値に最も近い行使価格-750円のプットの売り 現在値に最も近い権利行使価格-1000円のプットの買い
日経平均が荒れる	ロング・ストラドル	現在値に最も近い行使価格のコールの買い 現在値に最も近い行使価格のプットの買い
	ロング・ストラングル	現在値に最も近い権利行使価格+750円のコールの買い 現在値に最も近い権利行使価格-750円のプットの買い
	ショート・バタフライ	現在値に最も近い権利行使価格+250円のコールの売り 現在値に最も近い行使価格のコールの買い 現在値に最も近い行使価格のプットの買い 現在値に最も近い権利行使価格-250円のプットの売り
	ショート・コンドル	現在値に最も近い権利行使価格+1000円 現在値に最も近い行使価格+750円 現在値に最も近い行使価格-750円 現在値に最も近い権利行使価格-1000円

資料：調整用ポジション一覧（デルタヘッジナビ）

お客さまのポジション	ストラテジーパターン	提示ポジション	提示数量
デルタロング※	先物の売りで調整		既存ポジションのデルタを0に近づけるよう枚数調整
	プットの買いで調整	現在値に最も近い行使価格-250円のプットの買い	
	バックレシオで調整	現在値に最も近い行使価格-250円のプットの売り 現在値に最も近い行使価格-500円のプットの買い	
	カウンターレシオで調整	現在値に最も近い行使価格-500円のプットの売り 現在値に最も近い行使価格-250円のプットの買い	
デルタショート※	先物の買いで調整		
	コールの買いで調整	現在値に最も近い行使価格+250円のコールの買い	
	バックレシオで調整	現在値に最も近い行使価格+250円のコールの売り 現在値に最も近い行使価格+500円のコールの買い	
	カウンターレシオで調整	現在値に最も近い行使価格+500円のコールの売り 現在値に最も近い行使価格+250円のコールの買い	

※既存建玉がデルタロングの場合→ 先物の売りで調整、プットの買いで調整、バックレシオで調整、カウンターレシオで調整

※既存建玉がデルタショートの場合→ 先物の買いで調整、コールの買いで調整、バックレシオで調整、カウンターレシオで調整

※既存建玉のデルタが±0.1未満の場合→ デルタが0に近接している場合は、有効なポジションが提示できないため、シミュレーションを実施いたしません

先物オプション シミュレーションツール「AIデリバティブ」について

本アプリケーション「AIデリバティブ」（以下、本サービスという。）は、カブドットコム証券株式会社（以下、当社という。）および、株式会社Sound-Fintechが運営しています。本サービスを利用される前に、以下のご利用条件をお読みいただき、ご了解頂いた方のみご利用ください。なお、本サービスのご利用条件は予告なしに変更することがあります。

<免責事項>

- ・本サービスが提供する情報の内容については日本経済新聞社、他の信用を持てるデータを基に配信を行い、データメンテナンスには万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、将来の結果を保証するものでもございません。これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および株式会社Sound-Fintechは一切の責任を負いません。
- ・本サービスに掲載されている事項は、証券投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、特定の金融商品の売買を推奨・勧誘するものではありません。投資にあたっての意思決定・最終判断はお客様ご自身の裁量でお願い致します。
- ・お客様は、本サービス画面に表示されている情報を、お客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることはできません。
- ・本サービスのご利用にあたり、当社が適当でないと判断させて頂いた場合には利用を停止させて頂く場合もございます。
- ・本サービスは、先物取引およびオプション取引に関する情報提供を行いますが、当該取引は、少額の証拠金で当該証拠金の額を上回る取引を行うことができることから、時として多額の損失が発生する可能性を有していることをご理解いただいた上でご利用ください。
- ・本サービスは、既存の建玉・仮想の建玉についての将来の損益曲線やお客様ご自身の指定する日経平均株価の目標値に合致するストラテジーのシミュレーションを行うことを目的として提供しております。実際のお取引における、証拠金管理・余力管理、ポジション状況の把握等は、お取引画面、残高照会、建玉可能額画面等にてご確認ください。

<証券投資に関する手数料等およびリスクについて>

- ・当社の取扱商品へのご投資の際は、各商品に所定の手数料や諸経費等をご負担いただく場合があります。各商品等は価格の変動、金利の変動、為替の変動等により投資元本を割り込むおそれがあり、また商品等によっては投資元本を超える損失（元本超過損）が生じるおそれがあります。
- ・各商品の手数料等は、商品、銘柄、取引金額、取引チャネル等により異なり多岐にわたるため、具体的な金額または計算方法を記載することができません。手数料等の詳細は、当社ホームページ（<https://kabu.com/cost/>）をご覧ください。手数料等には消費税が含まれます。
- ・当社お取扱商品の手数料等およびリスクの詳細については、契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、約款・規定集および当社ホームページの「ご投資にかかる手数料等およびリスクについて」（<https://kabu.com/company/info/escapeclause.html>）や取引ルール等をよくお読みの上、投資の最終決定はご自身のご判断とご責任でおこなってください。

<指数先物取引・指数オプション取引に関するご注意事項>

- ・指数先物取引および指数オプション取引は、元本や利益を保証するものではありません。指数先物取引および指数オプション取引は、対象指数の変動等により価格が変動するため、投資元本を割り込むおそれがあります。
- ・指数先物取引および指数オプション取引をおこなうには、「SPAN®証拠金額×当社が定める掛目－ネット・オプション価値の総額」で計算される証拠金の差し入れが必要です。なお、証拠金の額は、金融商品取引所等の規制及び当社独自の判断で変更されることがあります。このため、取引金額の証拠金額に対する比率は一定でなく、明記することができません。
- ・指数先物取引では、差し入れた証拠金を上回る金額の取引が出来るため、損失の額が証拠金の額を上回る（元本超過損）おそれがあります。
- ・指数先物取引および指数オプション取引には取引期限があり、取引期限を超えてのお取引はできません。所定の期日までに反対売買がなされない時は、予め定められた方法により決済されます。
- ・指数オプションの買方は、期日までに権利行使または転売をおこなわない場合には権利は消滅し、投資金額の全額を失います。また、指数オプションの売方は、予測に反する方向へ大きく向かった場合、損失の額が証拠金の額を上回る（元本超過損）おそれがあり、また損失額が限定されていません。
- ・日経平均VI先物は、日経平均株価が急落時に価格が急上昇する特徴があることから、日経平均VI先物の売り方はその損失額が株価指数先物取引と比較して非常に大きくなるおそれがあります。
- ・指数先物取引および指数オプション取引の手数料の概要は以下のとおりです。
 - <指数先物取引> 1枚あたり最大940円（税抜）
 - <指数オプション取引> 約定金額×0.2%（最低手数料200円）（税抜）

<「先物シミュレーション」に関するご注意>

・本機能は、お客さまの指定する日経平均の目標値に最適化したストラテジーとそれを実現するための日経225miniの建玉を出力する機能です。ただし、必ずしもお客さまの指定する日経平均の目標値に合致するポジションが出力されるものではありませんので、あくまでも参考としてお考えください。

<「オプションシミュレーション」に関するご注意>

・本機能は、お客さまの指定する日経平均の目標値に最適化したストラテジーとそれを実現するための日経平均オプションの建玉または建玉の組合せを出力する機能です。ただし、必ずしもお客さまの指定する日経平均の目標値に合致するポジションが出力されるものではありませんので、あくまでも参考としてお考えください。

<「デルタヘッジシミュレーション」に関するご注意>

・本機能は、原資産に対するデルタ値を縮小させるための一般的な方法を表示します。その前提となる各種パラメータは必ずしも現状のマーケットを反映しているものではありません。これらのことから必ずしもリスクを軽減できる結果が得られる方法ではありませんので、あくまでも参考としてご利用ください。・選択いただいた調整内容によっては、既存建玉と同じ銘柄が含まれる場合があります。その場合、当該建玉を保持していない状況と仮定しお考えください。

<「ポジションカスタマイズ」に関するご注意>

・本機能は、様々な建玉および建玉の組合せを登録することにより、当該組合せごとに損益シミュレーションを行うことができます。
・仮想建玉は、仮想建玉1～5まで、それぞれ50明細を登録することができます。
・仮想建玉は、当該建玉の取引最終日の15：15に消滅します。
・仮想建玉横の「注文」ボタンを押下すると、当社ホームページログイン後の先物またはオプションの発注画面が表示され、実際に発注するためには、当該発注画面にて、銘柄名、数量、売買の別、新規決済の別、価格、その他条件等の入力が必要となります。あくまでも、当該発注画面を呼び出す機能であることにご注意ください。

<本サービスが表示するリスク指標等についてのご注意>

・本サービスが表示する「デルタ/ガンマ/セータ/ベガ/評価損益」は、「日経225先物/日経225mini/日経225オプション」における数値です。「デルタヘッジシミュレーション」に関するご注意と同様、前提となるパラメータやモデルは必ずしも現状のマーケットを反映したものではありません。TOPIX先物等その他取引は含まれません。
・本サービスにおける「デルタ/ガンマ/セータ/ベガ」は、システムの仕様や設計上、先物OPボードやkabuステーション®等に表示されている数値とは異なる場合がございますのでご注意ください。

<3Dチャート、損益チャート、時系列チャートおよびストレステスト等、チャート全般に関するご注意>

・既存建玉、注文中、仮想建玉1～5のうち、チャート表示対象ポジション選択メニューにて選択されたポジションすべてに関するシミュレーション結果を表示します。
・「日経225先物/日経225mini/日経225オプション」の「既存建玉/未約定注文/仮想建玉」よりお客さまが選択されたポジションをもとに表示しています（TOPIX先物等その他取引は含みません。）
・算出された理論値をもとに表示したものであり、実際とは異なる可能性があります。あくまでも参考としてご利用ください。

<チャート表示対象限月の選択機能についてのご注意>

・3Dチャートおよび時系列チャート表示時に、チャート表示対象限月を以下より選択していただくことができます。なお、選択したチャート表示対象限月は、他のチャート（損益チャートを除く。）を表示した時点においても引き継がれます。
・「全限月の建玉」選択時：全ての限月の建玉について、直近SQまでを対象にグラフを表示します。
・「2限月以降の建玉」選択時：第二限月以降の建玉について、第二SQまでを対象にグラフを表示します。
・「3限月以降の建玉」選択時：第三限月以降の建玉について、第三SQまでを対象にグラフを表示します。
・上記の「全ての限月の建玉」、「第二限月以降の建玉」および「第三限月以降の建玉」は、直近限月の取引最終日の15：15に、それぞれ次限月に切り替わりますのでご注意ください。

<3Dチャートに関するご注意>

3Dチャートは、日経平均株価（円）×損益額（千円）×営業日（日）の3軸でのポジション損益を計算しグラフ描画します。

<時系列チャートに関するご注意>

時系列チャートは、営業日（日）×損益額（千円）の2軸でのポジション損益を計算しグラフ描画します。シミュレーションは、将来の営業日ごとの日経平均価格（ $-3\sigma \sim 3\sigma$ ）にて行います。

<ストレステストに関するご注意>

ストレステストは、時系列チャートを背景に、4つのイベントリスク発生時の株価変動又は株価変動とボラティリティを現在を起点に当てはめた損益の将来シミュレーションを行った結果を表示します。シナリオは、ライブドアショック、リーマンショック、黒田バズーカ、ブレグジット、の4パターンとなります。

<損益チャートに関するご注意>

- ・損益チャートは、プルダウンメニューから選択した日の損益ライン（赤）とSQ日の損益ライン（青）を描画します。
- ・プルダウンメニューの年月日リストは、毎日15：30に、1日先日付に切り替わります。なお、年月日リスト切り替え時刻の前後数十分間において、指定日の前日もしくは翌日を想定したチャートが描画されることがあります。
- ・損益チャートの背景は、「日経225先物/日経225mini/日経225オプション」における「証拠金状況」を色分けして表示しています（TOPIX先物等その他取引は含みません。）
- ・証拠金状況が「100%以上」は、グラフ上「緑」の網掛けで表示し、評価益が発生する価格レンジとなります。
- ・証拠金状況が「40%超100%未満」は、グラフ上「黄」の網掛けで表示し、受入証拠金が毀損する評価損となる価格レンジとなります。
- ・証拠金状況が「0%超40%以下」は、グラフ上「薄い赤」の網掛けで表示し、受入証拠金が毀損する評価損となる価格レンジとなります。
- ・証拠金状況が「0%以下」は、グラフ上「赤」の網掛けで表示し、受入証拠金の全額が消滅する以上の評価損が発生する価格レンジとなります。

※受入証拠金は、契約締結前交付書面の記載に従い、以下の計算式により求めています。

証拠金として差入れ又は預託している金銭の額 + 代用有価証券の額（有価証券の時価×掛目） ± 顧客の現金授受予定額

顧客の現金授受（受領又は支払） 予定額：

計算上の損益（利益又は損失）額（先物取引の相場の変動に基づく損益額 - 計算上の利益の払出額） ± 顧客との間で授受を終了していない先物取引の決済損益額 ± 顧客との間で授受を終了していないオプション取引の取引代金 - 顧客の負担すべきもので金融商品取引業者が必要と認める額

<各種計算結果について>

オプションの理論価格および、それに基づく将来損益価格は、Sound-Fintechが一般的な金融工学の算出ロジックに基づき当社のAPIや日経QUICK社等のデータを基に算出いたしますが、所定のパラメータに基づくお客さまの画面更新時の残存日数等に基づく理論価格を算出しており、必ずしも将来のオプション価格を保証するものではありません。理論価格の算出に必要なとされる原資産価格の参照は、株式市場の日中立会時間は日経平均株価を、それ以外の時間は日経225先物取引のラージの価格を利用いたします。また、配当利回りは限月ごとの配当利回りを基に計算いたします。これら以外にも各種前提を用いており、それらも将来のオプション価格の理論価格に影響を与えます。

<ご利用環境>

本サービスは、以下のご利用環境にて最適化されています。

OS：Windows7 SP1以降（※Windows8は、Microsoft社によるサポートが終了しているため対象外です）

ブラウザ：IE 11以上（※Microsoft Edgeは推奨外です）、Firefox、Chromeの最新ブラウザ

上記以外の、OS・バージョンで本サービスをご利用いただく場合、正しく表示されない場合があります。

また、本サービスは、表示の制御にJavaScriptを使用しています。ブラウザの設定でJavaScriptが無効になっている場合は閲覧することができませんので、有効にいただきご利用ください。

<Cookie（クッキー）、Webビーコンその他の類似技術>

・本サービスでは、一部のページでサービスを提供するためにCookie、Webビーコンその他の類似技術を使用する場合がございます。

・CookieやWebビーコン等は、匿名情報として統計的な分析等に利用されるほか、会員制のサービス等では、よりカスタマイズしたサービスを提供するため、お客さまを識別する情報と関連付ける場合がございます。

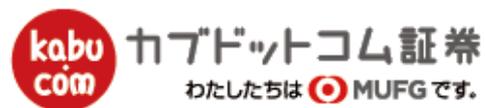
<著作権等>

・本サービスは、東京証券取引所、株式会社Sound-Fintech（以下「情報提供者」といいます）から情報提供を受けています。

・日経平均株価の著作権は日本経済新聞社に帰属します。

・本サービスに関する一切の権利は、当社、情報提供者又は著作権を有する第三者に帰属します。許可なく無断で複製、転載、引用することを禁じます。なお、個別に条件等が記載されている場合は、当該条件が優先します。

※最新情報は当社ホームページ（<https://kabu.com/>）にてご確認ください。



金融商品取引業者登録：関東財務局長（金商）第61号
銀行代理業許可：関東財務局長（銀代）第8号
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会

お問い合わせ・ご相談・苦情等
お客様サポートセンター フリーコール 0120-390-390
※携帯・PHS・050で始まるIP電話からは 03-6688-8888 （※通話料は有料になります）
苦情について当社以外の窓口
特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター フリーダイヤル 0120-64-5005